



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会社名 山一電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 太田 佳孝
(コード番号 6941 東証第一部)
問合せ先 取締役兼常務執行役員管理本部長 加藤 勝市
(電話 03-3734-0115)

山一電機グループ「中期経営計画」について

当社は、さらなる飛躍を図るため、平成29年度を初年度とする3ヵ年の山一電機グループ新中期経営計画（平成30年3月期～平成32年3月期）を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 前中期経営計画の成果について

当社は、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを経営目標として平成26年度に山一電機グループ中期経営計画（平成27年3月期～平成29年3月期）を策定いたしました。

平成26年度策定の山一電機グループ中期経営計画では、“構造改革”“収益力強化”“成長戦略”の3本を柱とする「事業構造改革」に取り組み、平成29年3月期までの3年間で、連結営業利益目標45億円に対し80億円と大幅に達成し、収益力の向上と財務体質の強化を図ることができました。なお、設備投資額につきましては、3ヵ年累計目標額70億円に対して、53億円の投資額となり、全て自己資金で行いました。

また、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長するという経営目標に対しては、事業環境の変化が著しく、お客様のグローバル化やニーズの変化等があり、今後とも継続して取り組んでまいります。

	3ヵ年累計目標額	3ヵ年累計実績
連結営業利益額	45億円	80億円
設備投資額	70億円	53億円

2. 新中期経営計画の取り組み

平成29年度を初年度とする3ヵ年の山一電機グループ新中期経営計画（平成30年3月期～平成32年3月期）は、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き目指すこととし、この経営目標の達成にあたり「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から取り組んでまいります。戦略としては、「成長戦略」と「構造改革」を核に推進し、お客様のニーズに応えられる企業に成長するとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図ってまいります。

(1) 業績目標

3カ年（平成30年3月期～平成32年3月期）累計の連結営業利益額は102億円以上を目標として取り組んでまいります。

	平成30年3月期	平成31年3月期	平成32年3月期	累計
連結売上額	275億円	283億円	295億円	853億円
連結営業利益額	30億円	34億円	38億円	102億円

※想定為替レート 1\$=110円、1€=120円

(2) 基本戦略

① 成長戦略

「伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品」と「ユニークな製品、差別化した製品の開発」をキーに技術力の強化を図り、グローバルニッチTOP製品を創出し、成長戦略の具現化に取り組んでまいります。

[テストソリューション事業]

- ・お客様ニーズに応えられる新技術開発による販売拡大
- ・新市場・新規顧客開拓による販売拡大
- ・グローバル連携強化による顧客サービスの向上

[コネクタソリューション事業]

- ・グローバルニッチTOP製品の創出
- ・IoTを視野に入れて通信・車載・産機・医療の4市場向け製品の拡充

[光関連事業]

- ・顧客の開発段階からのソリューション提案力強化
- ・戦略的な新規開拓活動推進

② 構造改革

当社グループは、前中期経営計画で取り組んだ構造改革と収益力強化をさらに追求し、グローバル管理体制を強化し、モノづくりの効率化を図ってまいります。

(3) 投資計画

投資計画の3カ年累計額は70億円とし、新中期経営計画の目標達成のために資金を投下いたします。

(4) その他

- ① ROEにつきましては、10%以上を目指してまいります。
- ② 配当につきましては、連結配当性向30%を目指してまいります。

以上

【本資料に関する注意事項】

当資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。